

★市長表彰		
【総合】		
第1位	第6分団第3部1班	(釜ヶ台)
第2位	第2分団第3部2班	(大森)
第3位	第3分団第1部1班	(関)
★消防団長表彰		
【訓練礼式の部】		
◆団体表彰		
第1位	第7分団第1部	(伊勢居地・畑・桂坂)
第2位	第7分団第2部	(百目木・立居地・樋ノ口)
第2位	第6分団第3部	(釜ヶ台・冬師)
第3位	第2分団第3部	
第3位	第2分団第1部	(長岡・大森・水岡)
第3位	第3分団第1部	(小滝・石名坂)
◆個人表彰		
指揮者	第7分団第1部2班	(畑)
	齋藤 信吾	
【小型ポンプ操法の部】		
◆団体表彰		
第1位	第6分団第3部1班	(釜ヶ台)
第2位	第3分団第2部1班	(川袋)
第2位	第2分団第3部2班	(大森)
第3位	第3分団第3部2班	(大須郷)

【ポンプ車操法の部】		
◆団体表彰		
第1位	第3分団第1部1班	(関)
第2位	第6分団第1部1班	(院内)
◆個人表彰		
指揮者	第3分団第1部1班	(関)
	横山 英弥	
1番員	第3分団第1部1班	(関)
	横山 真也	
2番員	第3分団第1部1班	(関)
	佐々木希望	
3番員	第6分団第1部1班	(院内)
	高橋 達也	
4番員	第3分団第1部1班	(関)
	松田 芳洋	

臨時市議会

(会期：7月10日)

上程された議案	
◇平成30年度にかほ市一般会計補正予算(第3号)について	平成30年第4回臨時市議会が7月10日に開かれました。上程された議案は平成30年度にかほ市一般会計補正予算(第3号)1件で、原案の通り可決されました。
補正の内容は、これまで行ってきた株式会社プレステージ・インターナショナル新拠点の誘致活動について、このたび、新拠点施設の建設が合意に至ったため、平成30年6月29日締結の基本合意書に基づく、建設用地の確保・造成等に係る予算を計上するものです。	
歳出では、商工費の商工振興費に用地調査費、造成設計費等、あわせて2,692万3千円を追加しています。	
なお、歳入歳出予算の調整については、歳入の繰越金を2,692万3千円増額して行っています。	

「伝わる」ための「伝える」を

とある若者夫婦の話

先々月になりますが、ある市職員からこんな話を聞きました。

以前、市内の賃貸に暮らしていた若者夫婦が、家を購入しようと市内外で物件探しを始めたそうです。その中で、それぞれの自治体の移住・定住支援策を知りました。支援内容は、自治体毎にばらばらですが、たいていは他市町村から移り

子育て支援も同時に――。

先ほどの若者夫婦に話を戻します。その夫婦は移住したことの評価に悩んでいると言いましたが、それは移住・定住奨励

励制度以外の支援策を知らなかったからです。

特に、大きかったのは保育料の軽減措置でした。誤解を与えないといけないので金額の明示はしませんが、ざっくりと言えば、にかほ市独自の保育料軽減分が、移住先では自己負担となり、先ほどの移住奨励金がその負担の1年分で相殺されてしまったのです。

それ以外にも、就学期間中の医療費窓口負担分の無料化など、出産・育児・就学期など幅広い期間での子育て支援策がにかほ市の方が充実していたのです。



にかほ市長 市川雄次

創造を想像する

住んできて、住宅を求めたときに奨励金が支給されるといったものです。この若者夫婦も新たに住宅を求め市外へ移り住み、移住奨励金の支給を受けました。

いま、この若者夫婦は、自分たちの選択が正しかったのか、疑問を抱いているそうです。それはなぜか――。

にかほ市の移住・定住者への支援は？

と、その前にせつかくですから、にかほ市の移住・定住支援を紹介したいと思っています。当然のことながら、にかほ市でも定住奨励金を主とした移住定住支援を実施していて、それなりの実績をみています。

奨励を受けるには、「市外に3年以上在住」していて移住の意志をもって「市内に住宅を取得した人」、もしくは市内に移住してきてから「3年以内に住宅を取得」していることが要件となっています。

奨励の内容としては、最大で100万円の定住奨励金、3年間分の固定資産税相当額の支給、市内温泉5カ所の無料パスポート1年分です。また、今年度からは、移住世帯の保育料を最大で6年間無料とする新たな制度もスタートさせています。

伝える側の努力と工夫

少し自慢気な話になりました。私が今回お伝えしたかったことの核心はそこではありません。

市ではこれまでも市民福祉の向上のための施策を数多く行っていますが、それらがなかなか広く市民に知れ渡らないというジレンマがあります。もちろんこれには、自分に利害のないものには興味を示さない、という人間の属性にも原因があります。やはり伝える側にもひと工夫が足りなかったのではと思います。

市は、広報やホームページなどで広く市民にいろいろな情報を発信しているほか、特定される対象者には個別にお知らせもしています。それでもなお、更なる努力と工夫をしなければならぬのだと前述の若者夫婦のエピソードが教えてく

主な内容 Line up	
2	特集：中島台レクリエーションの森
6	市長コラム～創造を想像する～
7	消防広報～纏～、臨時市議会
8	行政情報チャンネル
12	福祉・健康・保健
13	戸籍の窓口、8月の行事予定表
14	くらしの掲示板
17	まちの話題
21	街角ニュース、にかほ紹介4コマ ジオパークリレーコラム